

記入見本

申請者氏名 緩和 太郎
入会年月日 西暦 2008 年 1 月
所属施設名 x x 病院 薬剤
申請履修単位 全 100 単位

全ページの単位を合計した数字を記入。

講習会・教育セミナー・学会等の参加履修証明 西暦 (2010) 年分

Table with 6 columns: No., 年月日 (西暦), 講習会・教育セミナー等の名称 (演題名), 主催団体名, 単位 (時間) 数, 認定シール. It contains one detailed entry for 2010 and a '合計' (Total) row.

日付は 1 月から 1 2 月の順に

一日参加： 8 単位 6 時間
二日参加： 16 単位 12 時間
(第 4 回年会以降)
一日参加 = 6 時間とカウント。

シールがなく、参加証や領収証を出席証明とする場合は、別紙 (A4 白紙) に証明書を貼付し PDF 化する。
抄録の写しは参加証明とは認められないので注意。

当会 e ラーニング (2013 年度以前) で取得した単位の記載方法
講習会・教育セミナー等の名称:「e-ラーニング」
主催団体名:空欄でよいです
単位(時間)数: e-ラーニングで聴講できる年回教育セミナーは 1 コマ 60 分で 2 単位 (ダブルポイント) のため、2 単位で 60 分として計算してください
認定シール:「添付履修表参照」
上記のように、各年度ごとに一行記載をお願いいたします。
履修表は可能であれば各年度の対象単位にマーカー等で印をつけ、年度ごとに PDF 化して添付してください。
医療教育研究所 e ラーニング「緩和医療薬学シリーズ」の記載方法
年月日: ポートフォリオ記入日を記入する
講習会・教育セミナー等の名称:「緩和医療薬学シリーズ」に加えて講座名を記載してください (講座単位で 1 行とする)
主催団体名: 医療教育研究所
単位 (時間) 数: 1 講座 (30 分) 1 単位です
認定シール: 学会事務局から郵送された単位シールを貼付してください

日付が古いものから順に、年度ごとに通し No. を付す。
参加証や領収証を別紙に貼付した場合は、この番号を該当の証明書に添え書きする。詳細は次ページ参照。

ページごとの合計を記入。

## 【2010年度分 別紙】

### No.1

### 日本緩和医療薬学会 第4回年会の参加証明書

The 4th Annual Meeting of Japanese Society of  
Pharmaceutical Palliative Care Sciences  
JPPS みんなでふくらまそう ころでつ 知識を厚めて実践へ  
第4回日本緩和医療薬学会年会 懇親会

所属  
Affiliation

氏名  
Name

参加証 兼 領収書

貴殿は第4回日本緩和医療薬学会年会に参加したことを証します。

	事前登録	当日登録
会 員	<input type="checkbox"/> ¥8,000円	<input type="checkbox"/> ¥10,000円
非会員	<input type="checkbox"/> ¥10,000円	<input type="checkbox"/> ¥12,000円
学 生	<input type="checkbox"/> ¥3,000円	<input type="checkbox"/> ¥4,000円

2010年9月25日(土)・26日(日) 鹿児島市民文化ホール他

第4回日本緩和医療薬学会年会  
年会長 山田 勝士

第4回日本緩和医療薬学会年会  
懇親会領収書

会員・非会員 ¥8,000円  
 学 生 ¥4,000円

日時：2010年9月25日(土)  
時間：18:45～開催  
場所：鹿児島サンロイヤルホテル 2階 太陽

第4回日本緩和医療薬学会年会  
年会長 山田 勝士

第4回日本緩和医療薬学会年会  
2010年9月25日(土)・26日(日) 鹿児島市民文化ホール他  
日本薬剤師研修センター研修受講シールおよび  
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師認定単位  
配布・押印チェック欄

日本薬剤師研修センター 研修受講シール	緩和薬物療法認定薬剤師 認定証明印
印 25日(3単位)	印 25日(8単位)
印 26日(3単位)	印 26日(8単位)

何年度分の別紙であるのか記入。年度ごとに用紙を改め、複数枚にわたる場合は、別紙・別紙...と番号をふる。

2009年度の様式4+別紙  
2010年度の様式4+別紙...のように、年度順に並べてアップロードすること。

様式4で付したNo.を明記。会の名称を必ず記載したうえで、該当する参加証や領収証を貼付。

証明書はモノクロではなく、カラーでPDF化すること。

所属・氏名部分も忘れずに、押印部分と合わせてPDF化すること。

個人の名前が特定できない、押印部分のみの参加証では、単位として認められない。

氏名・所属・押印が揃って参加証明となる。

氏名・所属部分のみで、押印部分が欠けている参加証は、単位として認められない。